



Commercial Vantage デプロイメントガイド

更新日: 2025 年 4 月 8 日

目次

はじめに.....	3
第 1 章 概要.....	4
第 2 章 デプロイメント.....	5
第 3 章 構成.....	7
第 4 章 機能とサンプル構成.....	9

はじめに

このガイドは、企業や組織で Commercial Vantage のデプロイメントと構成を担当している熟練した IT 管理者を対象として作成されています。

ご提案、ご意見、ご質問は、以下のフォーラムよりご連絡ください。（このガイドの作成者を含む）デプロイメント・エンジニアが、お客さまが直面されているデプロイメント上の課題の解決をお手伝いします。（英語での対応となります）

https://forums.lenovo.com/t5/Enterprise-Client-Management/bd-p/sa01_eg

上記フォーラムから回答が見つからず、サポートが必要な場合、ご質問の詳細を記載の上、サポートチームの下記メールアドレスまでご連絡ください。

commercialvantage@lenovocloudsoftware.com

第 1 章 概要

Commercial Vantage は、ハードウェアの設定変更やレノボのソフトウェア・ドライバーの更新のためのユーザーインターフェイスを提供します。Commercial Vantage は、2017 年 12 月から Microsoft Store で提供されている Lenovo Vantage をスリム化したカスタマイズ可能なソフトウェアです。Commercial Vantage をご使用いただくにあたって、従来バージョンの Lenovo Vantage、Lenovo Companion、Lenovo Settings のいずれかがお使いの PC 上に存在している場合、まずアンインストールする必要があります。

Commercial Vantage の機能を活用するためには、以下のソフトウェア・コンポーネントが必要となります。

Commercial Vantage（本アプリケーション）

このユニバーサル Windows プラットフォームアプリケーションは、ユーザーインターフェイスを提供します。

Microsoft Store からアプリケーションをインストールすることも、MSIXBUNDLE ファイルを使用してサイドローディングすることもできます。Commercial Vantage をインストールする前に、必ず過去バージョンの Lenovo Vantage、Lenovo Companion、Lenovo Settings をアンインストールしてください。

Lenovo Vantage Service

このパッケージによって、Commercial Vantage に必要なアドインがインストールされます。

第 2 章 デプロイメント

Commercial Vantage インストーラー

従来の PowerShell スクリプトの代わりに、より快適な操作性を実現するコマンドラインインストーラーを提供しています。管理者として実行する必要があり、パラメータは大文字と小文字が区別されます。

Commercial Vantage アプリケーション

Commercial Vantage は、Microsoft Store

(<https://apps.microsoft.com/detail/9NR5B8GVVM13>) から直接インストール可能なユニバーサル Windows プラットフォームアプリケーションです。

サイドローディングに使用可能な MSIXBUNDLE（および関連ファイル）を提供しています。このタイプのインストールは、Windows が提供するコマンドを使用して実行できます。詳細については、

[https://technet.microsoft.com/en-us/library/dn376490\(v=wps.640\).aspx](https://technet.microsoft.com/en-us/library/dn376490(v=wps.640).aspx)

から入手可能な Microsoft のドキュメントを参照してください。

以下のコマンドで Commercial Vantage スイート (Commercial Vantage、Vantage Service、アドイン) のインストールが可能です。

```
.¥VantageInstaller.exe Install -Vantage
```

補足説明: VantageService を C:¥Program Files

(x86)¥Lenovo¥VantageService¥{ServiceVersion} にインストールし、アドインを

C:¥ProgramData¥Lenovo¥Vantage¥ にインストールします。

以下のコマンドで Commercial Vantage スイート (Commercial Vantage、Vantage Service、アドイン) のアンインストールが可能です。

```
.¥VantageInstaller.exe Uninstall -Vantage
```

補足説明: C:¥windows¥system32¥ImController.InfInstaller.exe のアンインストーラーを実行し、従来の ImController コンポーネントをアンインストールします。

以下のコマンドで Commercial Vantage に対象を絞ったアンインストールが可能です。

```
.¥VantageInstaller.exe Uninstall -App
```

SUHelper

SUHelper を活用することで、デプロイメントをコマンドラインで制御することができます。

包括的なガイダンスと詳細情報については、<https://docs.lenovocdr.com/guides/cv/suhelper/> を参照してください。このリソースは、SUHelper を効果的に活用するために必要なすべての情報を提供しています。

以下のコマンドで SUHelper のインストールが可能です。

```
.¥VantageInstaller.exe Install -SuHelper
```

以下のコマンドで SUHelper のアンインストールが可能です。

```
.¥VantageInstaller.exe Uninstall -SuHelper
```

補足説明: <C:¥Program Files¥Lenovo¥SUHelper¥unins000.exe> にあるアンインストーラーを実行します。

Microsoft Edge Webview2

Commercial Vantage バージョン 10.2501.15.0 以降では、アプリケーションをサポートするために Microsoft Edge Webview2 が使用されるようになりました。クライアントマシンに Webview 2 ランタイムがインストールされていない、または 122.0.2365.46 以前のバージョンがインストールされている場合、アプリケーションを実行する際に問題が発生します。最新バージョンは、Microsoft 社の Web サイトから入手できます：

<https://developer.microsoft.com/en-us/microsoft-edge/webview2/>

第 3 章 構成

Commercial Vantage の一部の機能は、管理された企業環境にあるエンドユーザーには適さない可能性があることを、レノボは理解しています。そのため、Commercial Vantage のほとんどの機能は、非表示または無効にすることで、エンドユーザーがアクセスできないようにすることができます。Commercial Vantage の構成には、以下の 2 通りの方法があります。

グループポリシー管理用テンプレート

お使いの PC がドメインに参加していて、グループポリシー管理用テンプレート（admx）を熟知されていれば、CommercialVantage.admx と CommercialVantage.adml をご自分のセントラルストアに追加できます。これらのファイルは、このガイドが入っていた.zip ファイルの「Group Policy Settings」フォルダの中にあります。準備ができたら、グループポリシーエディターを使用して以下のようにします。

コンピュータの構成 -> 管理用テンプレート -> Commercial Vantage

ポリシーエディターにリストアップされている設定を使用すると、Commercial Vantage のユーザーインターフェイスのどの部分をユーザーに見えるようにするかを制御できます。例えば、「Turn off Network」ポリシーを有効にすると、Commercial Vantage のネットワーク機能を非表示にできます。

グループ ポリシー管理用テンプレートの使用については、

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/troubleshoot/windows-client/group-policy/create-and-manage-central-store> を参照してください。

レジストリ

Commercial Vantage は、デプロイ時に、お使いの PC に.reg ファイルをインポートすることでも構成可能です。テスト・システムで以下の手順に従うことにより、ご自分の.reg ファイルを作成することも可能です。

1. **Group Policy Settings¥CommercialVantage.admx** を
C:¥Windows¥PolicyDefinitions フォルダにコピーします。
2. **Group Policy Settings¥en-US¥CommercialVantage.adml** を
C:¥Windows¥PolicyDefinitions¥en-US フォルダにコピーします。
3. gpedit.msc を実行します。
4. 構成項目は、**ローカルコンピューターポリシー -> コンピューターの構成 -> 管理用テンプレート -> Commercial Vantage** にあります。
5. ここから、必要なポリシー設定を構成できます。
6. 設定の変更が完了したら、グループポリシーエディターを閉じて、regedit.exe を実行します。
7. レジストリエディターで、
コンピューター¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Policies¥Lenovo に移動します。
8. **Commercial Vantage** を右クリックして、「エクスポート」のオプションを選択します。
9. レジストリファイルをお使いの PC に保存します
10. Commercial Vantage をデプロイする PC で、このレジストリファイルをインポートします。この操作は、Commercial Vantage のデプロイメント前、デプロイメント中、デプロイメント後のいつでも行うことができます。

第 4 章 機能とサンプル構成

A. Commercial Vantage – アプリケーション機能の表示/非表示

そのまま使用可能なレジストリ・エクスポート・ファイルとして、サンプル構成（sample-policy-config.reg）が提供されています（第 3 章参照）。この.reg ファイルは、デプロイメントの間にターゲット・システムにインポート可能です。このサンプルでは、以下のポリシーが構成済みです。

1. 使用許諾契約（EULA）に自動で承諾する
2. システム保証情報を非表示にする
3. システム保証情報を WMI に書き込む
4. 「マイ・デバイス」セクションを非表示にする
5. ネットワーク機能を非表示にして無効化する
6. ハードウェア・スキャン機能を非表示にして無効化する
7. 「フィードバックの送信」を非表示にする

このサンプルは一例です。第 3 章の手順に沿って対応することで、利用可能ないかなるポリシー設定も、同じようにデプロイできます。

B. システム・アップデート – 自動更新

デフォルトでは、Commercial Vantage のシステム更新機能によって、週次スケジュールで以下の更新が自動的にインストールされます。

- すべての「重要な更新」
- すべての「推奨アップデート」

これらの自動更新は、「コンピューターの構成」→「管理者用テンプレート」→「Commercial Vantage」→「Device」→「System update」→「Auto update」で無効にできます。あるいは、デプロイメント・パッケージに含まれている VantageDisableAutomaticSystemUpdates.reg ファイルを使用することもできます。

自動インストールされる更新の種類は、「**コンピューターの構成**」→「**管理者用テンプレート**」→「**Commercial Vantage**」→「**System update**」→「**Configure System Update**」で構成できます。例えば、BIOS やファームウェアの更新はインストールせずに、ドライバーとソフトウェアのみの更新をインストールするように選択できます。あるいは、重要な更新と推奨される更新をすべてインストールすることもできます。

C. システム・アップデート – 更新履歴

Commercial Vantage のシステム更新機能は、更新履歴を WMI (ROOT¥LENOVO namespace) に書き込みます。Lenovo Updates クラスには、Severity, Status, Title, Version とともに、特定のモデルに適用可能な各パッケージ ID が含まれています。

D. システム・アップデート – 更新リポジトリ

既定値では、Commercial Vantage のシステム更新機能はレノボ の更新リポジトリを検索します。お望みであれば、ご自分で独自の更新リポジトリを作成して、Vantage が代わりにそのリポジトリを使用するように構成することもできます。この構成は、「**コンピューターの構成**」→「**管理者用テンプレート**」→「**Commercial Vantage**」→「**Device**」→「**System Update**」→「**System Update Repository**」で行います。ローカル・フォルダー (c:¥myRepository など)、マッピングされたドライブ (m:¥myRepository など)、UNC パス (¥¥myServer¥myRepository など) を指定することができます。

Update Retriever を使用して独自の更新リポジトリを作成する方法の詳細については、<https://support.lenovo.com/jp/ja/solutions/ht037099> を参照してください。

E. 保証情報

コンピューター構成 -> 管理者用テンプレート -> Commercial Vantage -> Device -> Warranty のポリシーを設定することで、システム保証情報を WMI (ROOT¥Lenovo namespace) に書き込むことができます。Lenovo WarrantyInformation クラスには、SerialNumber, Product,

StartDate, EndDate, LastUpdateTime および購入された各保証の参照情報が格納されており、Lenovo WarrantyElement クラスには保証の詳細が格納されています。

F. バッテリーに関する情報

ThinkPad 上では、Commercial Vantage を通じてバッテリー関連の情報を WMI（ROOT¥Lenovo namespace）に書き込むことが、以下のポリシーを変更することにより可能になります。

「コンピューターの構成」→「管理者用テンプレート」→「Commercial Vantage」→「Device」→「Device Settings」→「Power」

Lenovo Battery クラスに、Commercial Vantage アプリケーション上で確認可能な内容と同一の設定が格納されます。

不明点については、フォーラムにお問い合わせください（英語での対応となります）。

https://forums.lenovo.com/t5/Enterprise-Client-Management/bd-p/sa01_eg